

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和6年度)

(宛先)岡崎市長

令和7年 3月 15日

団体名 アロハの会

代表者 今村 薫

構成員 15人(※令和7年4月1日時点の構成員数)

団体の目的:団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

- ① ウクレレ演奏を通して、地域の文化団体・町づくり団体との連携・交流を深める ②地域でのイベント主催・参加を通して、ハワイアン音楽の振興に努め、後継者の育成を図る ③各種施設への訪問ボランティア活動を行う ①～③をもって地域の文化交流、福祉の増進に資することを目的とする

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。
なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数*1	活動内容
毎月第1・3木曜日	やはぎかん	受講者	毎回 15~20人	ウクレレ講座を開講し、ウクレレ演奏を指導
4月28日(日)	やはぎかん	出演者 および 来場者	150人	第7回「アロハの集い」を主催
5/22 10/8 8/31 12/21 3/1	デイサービス虹 ツクイ大樹寺	デイサービス 利用者	毎回 30~40人	デイサービスへの 訪問演奏・歌唱指導
6/15 3/1	西部地域福祉 センター	施設利用者	毎回 40人程度	ロビーコンサート

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。<ex.自然環境>

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

講座参加者(中高年)にウクレレ演奏の魅力を伝え、日々の生活を楽しみ、仲間づくりをする機会を提供した。また、日頃の練習の成果を広く市民のみなさんに発表・交流する場としてイベントを企画したり、施設での演奏ボランティア活動を実施することで、演奏者・聴衆双方の生活を活性化したり、達成感を得ることができた。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← 5 (4) 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

『アロハの集い』を開催し参加団体に発表の場を提供し活動を支援できた。ウクレレ講座は順調に継続。3年ぶりに開講した「入門講座」も好評で新しい仲間が増えた。施設から訪問演奏の依頼が多く寄せられ、どの施設でもデイサービスの利用者の皆様への歌唱指導と全員合唱が好評で、活動的な体験を提供できた。